

科目名	教材・授業研究特論（2）
科目属性	専門科目 A群
担当教員	坂田映子
単位数	2 単位 (SC 0 単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>【授業の概要】</p> <p>本特論（2）では、教材・授業研究に関する教育実践研究とは、どのような研究を指すのか、文献や自身の教育実践や文献により考察できるようにする。具体的には、これまでの現場での実践を教育実践研究レポートとして執筆、考察するとともに、新規性、有用性などを導けるようにすることを目的とする。</p>	
<p>【授業の到達目標】</p> <p>授業の到達目標は、以下の通り。</p> <p>授業の到達目標は、以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業研究の手法(特に、これから質的研究法)を理解することができる。 2. 研究デザインの設計、実践・評価・考察について、教育実践研究レポートにまとめることができる。 3. 自身の教育実践研究を分析し考察することができる。 	
<p>【授業計画】</p> <p>第 1 回 授業研究における現場の現状と課題</p> <p>第 2 回 授業研究の再考</p> <p>第 3 回 授業力向上と実践的指導力</p> <p>第 4 回 授業研究を教育実践論文にするために</p> <p>第 5 回 教育実践研究レポートの構成の仕方(下記参照)の理解</p> <p>第 6 回 授業研究から授業改善へ</p> <p>第 7 回 研究デザインレポートの実践に関するデータ収集</p> <p>第 8 回 テキスト『これからの質的研究法』第 3 章「協働的な話し合いを支援する教師の即興的思考の研究—授業談話とインタビュー記録の分析によるリヴォイシング時の教師の思考の検討」を読む</p> <p>第 9 回 テキスト『これからの質的研究法』第 6 章「デザイン研究による学校の持続的な改善—子どもたちの学習過程の発話データや学習成果の記録を活用して」を読む</p> <p>第 10 回 テキスト『これからの質的研究法』第 9 章「授業観察経験の比較文化研究—ベトナム教師のナラティブ分析から」を読む</p> <p>第 11 回 第 8 回～10 回を参考にしながら、自身の教育実践研究レポートを書く</p> <p>第 12 回 教育実践研究レポートの推敲</p> <p>第 13 回 教育実践研究レポートの評価・修正</p> <p>第 14 回 考察</p> <p>第 15 回 課題と今後の展望</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>「レポート評価」（50%）、「科目修得試験」（50%）による総合評価。</p>	
<p>【教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 田中喜代美・藤江康彦(2019)『これからの質的研究法～15 の事例にみる学校教育実践研究～』東京図書株式会社 ISBN978-4-489-02307 C3011 2. 菊地 章(編)兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科共同研究プロジェクト(w)研究グループ(著). (2021)『博士号につながる「教科教育実践学」論文の書き方—院生・修了生・教員が明かすアクセプトの秘訣—』九州大学出版会 ISBN978-4-7985-0297-7 	

【参考図書】

1. 高垣マユミ編著. (2010). 授業デザインの最前線Ⅱ－理論と実践を創造する知のプロセス, 北大路書房. ISBN-13: 978-4762827082
2. 大嶋純・千代西尾祐司 編 (2019)『主体的・対話的で深い学びに導く学習科学ガイドブック』北大路書房. ISBN 978-4-7628-3080-8 C3037